

残サトル君Ⅱフィルター単体イメージ図 (設備付きフィルターとしての活用ケース)

予報停止カウンター管理

ICN株式会社

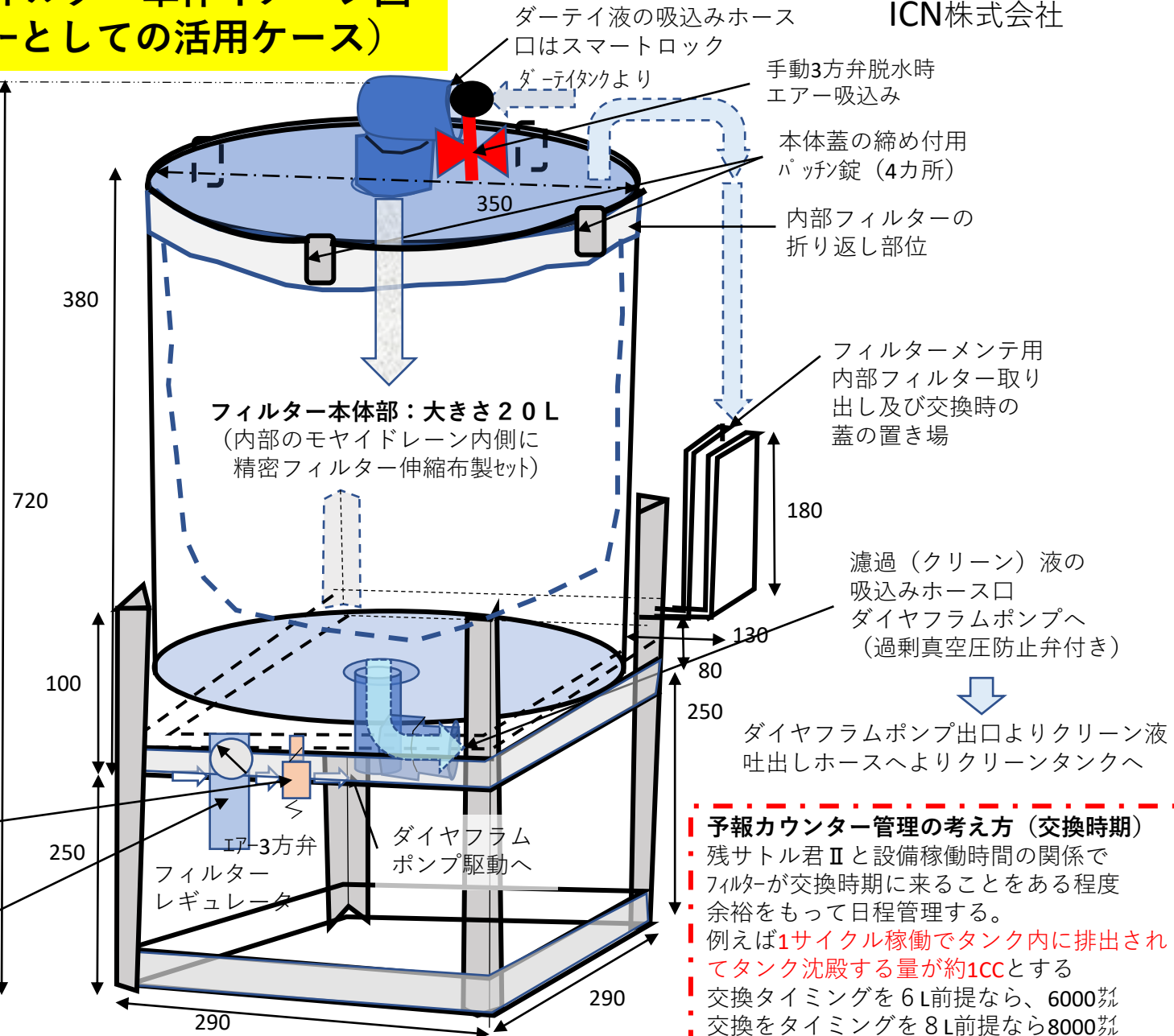
- ・処理能力
30 L/min
- ・濾過精度
10μ平均
- ・フィルター捕捉量/回
重量も考慮し
5L~8Lを
目安とする

設備に設置型として
使用する場合は2台を
平行で交互運転
としての利用を
希望します。

フィルター交換の目安は
サイクルカウンターにて
(切屑等の排出量)
管理すれば可能です。

ろ過運転入切りは
電磁弁にてON/OFF

エア設定圧は
0.3Mpaを原則



架台の高さは標準を表します。任意による寸法変更可 下部オイルパン付き等も準備

設備付き単体仕様（架台付き）の残サトル君Ⅱ（クリーンタンク有り）

フィルター交換のタイミング（考え方）

一般的にマシンサイクル毎に何mlのスラッジが発生するかを見極め、フィルター補足を体積の半分の量約6Lとして、何サイクルで交換タイミングかを見極める。サイクルカウンターにて例えば5000として予報を出して切りのいいところで交換するのが望ましい。

フィルター内は表面が目詰まりしてもスラッジそのものの上に積もり重なることで寿命は長くなり、しかもろ過制度は詰まれば詰まるほど精密になります。（最終的に 5μ 以下もあり得ます）

過剰真空圧防止用
真空破壊弁

クーラント吐出一般事例
150 L/min

マシン切粉流し
クーラント吐出

低圧ポンプ

配管部

ホース

手動3方弁脱水時
エア吸込み

一般事例
主轴スルークーラント吐出
10～15 L/min

ポカヨケとして
低下予報検知

中圧ポンプ

p

上蓋

内部
フィルタ

本体

予報カウンター発信後停止
カウンター300にて
バルブストップ
当初予報5000サイク（仮）
停止300サイク（仮）

クリーンタンク

クリーン液のオーバーフロー液は
ダートイタンクへと戻す

ダートイタンク

微細スラッジ

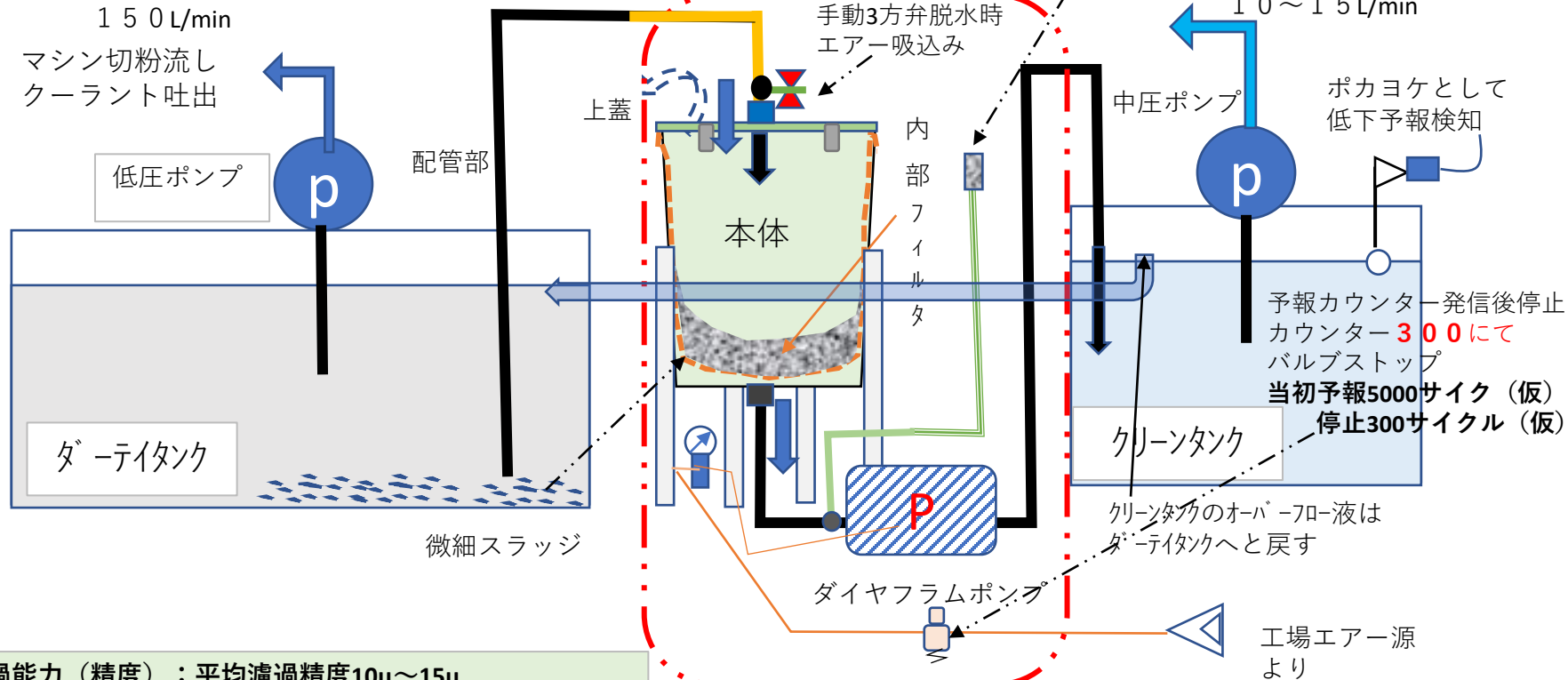
ダイヤフラムポンプ

工場エア源
より

濾過能力（精度）：平均濾過精度 $10\mu\sim 15\mu$
ろ過流量：約30 L/min（最大40 L/minフィルター初期値で）
捕捉スラッジ量：5～8 L/回（フィルタ容量の1/2：重量上）

濾過運転入り切り電磁弁

エア0.3MPa以下原則



設備付き単体仕様（架台付き）の残サトル君Ⅱ(クリーンタンク無)

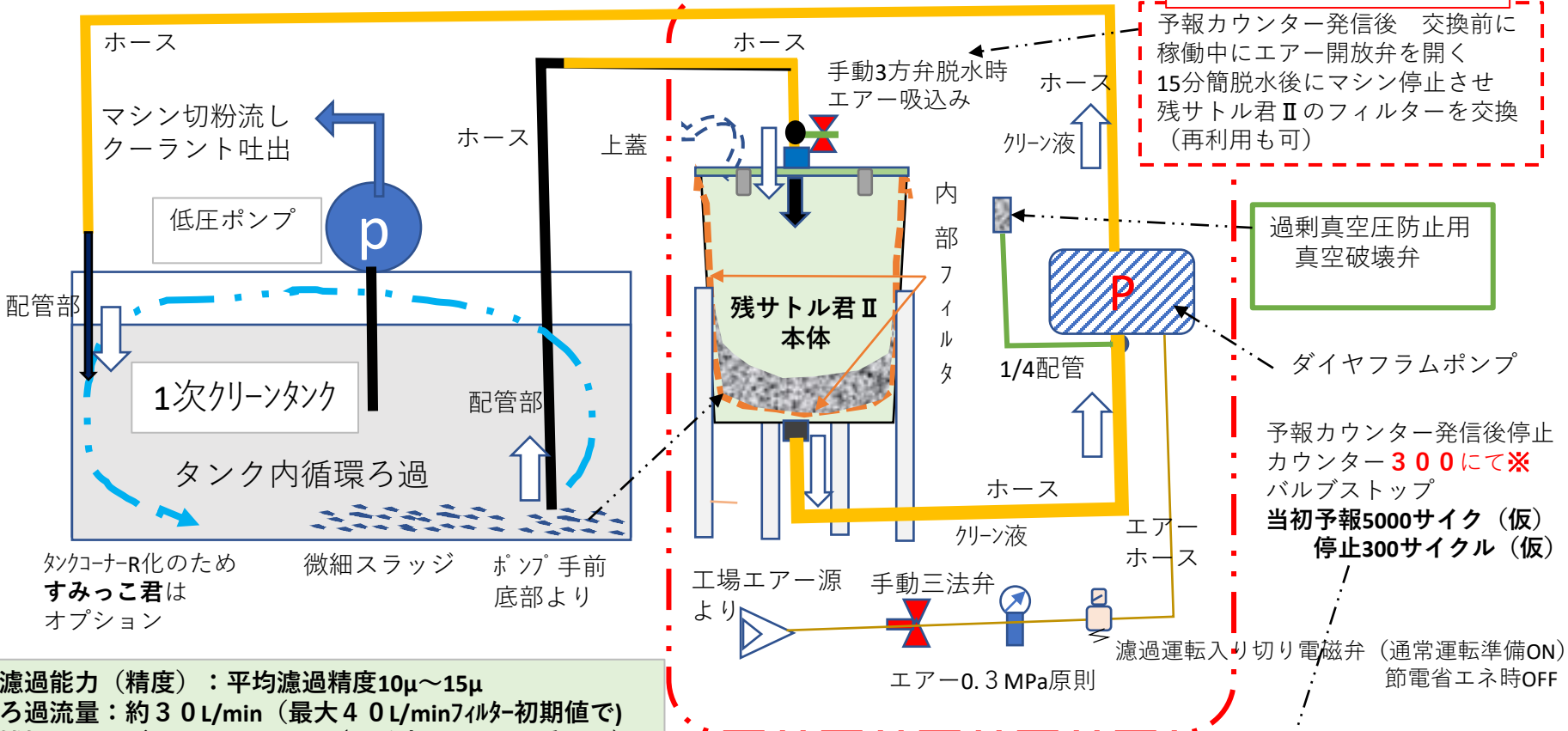
フィルター交換のタイミング（考え方）

一般的にマシンサイクル毎に何mlのスラッジが発生するかを見極め、フィルター補足を体積の半分の量約6Lとして、何サイクルで交換タイミングかを見極める。サイクルカウンターにて例えば**5000**として予報を出して切りのいいところで交換するのが望ましい。

フィルター内は表面が目詰まりしてもスラッジそのものの上に積もり重なることで寿命は長くなり、しかもろ過制度は詰まれば詰まるほど精密になります。（最終的に5μ以下もあり得ます）

内部フィルターのメンテ

予報カウンター発信後 交換前に稼働中にエア開放弁を開く
15分簡脱水後にマシン停止させ
残サトル君Ⅱのフィルターを交換
(再利用も可)



過剰真空圧防止用
真空破壊弁

予報カウンター発信後停止
カウンター**300**にて※
バルブストップ
当初予報**5000**サイク (仮)
停止**300**サイクル (仮)

濾過能力（精度）：平均濾過精度10μ～15μ
ろ過流量：約30L/min（最大40L/minフィルター初期値で）
捕捉スラッジ量：5～8L/回（フィルタ容量の1/2：重量上）

※予報から停止までの数値はマシン
1サイクルスラッジ排出量は微量のため任意設定可